

北海道歯学雑誌投稿規定

1. 種類

本雑誌は歯科医学に関する論文（総説・特集・原著・症例報告・速報）、紹介、業績目録、本学会記事、本学会抄録、その他を掲載する。但し、総説および特集は編集委員会の依頼による。

2. 制限

2-1 本雑誌への投稿は本会会員に限る。但し、編集委員会が特に認めたものはこの限りでない。

2-2 原著、症例報告および速報は他の雑誌に未発表のものに限る。速報は印刷4頁以内を目安とする。総説、特集、最新の歯学は印刷5頁以内を目安とする。原稿は編集委員会が依頼した、少なくとも2名の査読者による査読を受けた後、査読意見を参考にして編集委員会で採否を決定し、また、必要に応じて著者に修正を求めることがある。

3. 書式と提出方法

3-1 原稿はWordを用いて横書で作成し、用紙サイズはA4判とする。日本語はMS明朝等、英語はTimes等の汎用のフォントで12ポイント以上、行間は和文、英文共にダブルスペースとする。和文、英文ともに数字は半角とし、英文は半角、英文の単語と単語の間のスペースも半角とする。数字と単位の間は半角スペースを入れる（例：2.5 mg/100 g）。

3-2 句読点は、日本語は全角、英語は半角に統一する。

3-3 微生物や動植物などの学名はイタリックあるいは下線を引き、最初の文字のみを大文字で書く。

3-4 度量衡の単位は国際単位系（SI: The International System of Units）を原則とする。

3-5 英文は英語を母国語とする研究者が読んで、正確に理解できるものでなければならない。

3-6 表は図としてではなく、テキストデータとして作成することとし、Wordを用いて作成するか、Excelを用いて作成した表をWordに挿入してもよい。図はJPEG（圧縮はできる限り少なく）、TIFF、PICT、BMP、EPS、Photoshop形式で作成し、解像度は印刷サイズでグラフ等の描画は600dpi以上、写真は350dpi以上を目安にする。PowerPointを用いて、上記のような高解像度の原図を組み合わせて作図した場合は、PowerPointファイルをそのまま提出してもよい。図表印刷時における1カラムの横幅は78mm、2カラムの横幅は165mmであることを考慮して図の大きさと解像度を設定し、これより大きな図表を

投稿する場合には、あらかじめ縮小した時の字の大きさ等を確認しておくこと。なお図表の拡大印刷は認めない。

3-7 原則として原稿は電子データのオンライン投稿とする。また、投稿の際は必ずカバーレター、テキストあるいは図表などのファイルに加えて、それらを全てまとめてPDFとしたファイルも一緒に投稿する。オンライン投稿が不可能な場合、編集委員会へe-mail（hjds_editorial_office@den.hokudai.ac.jp）で問い合わせる。

3-8 投稿は、編集委員会へe-mailにてその旨を伝え、編集委員会の指示にしたがって実施する。簡単な投稿の流れは次の通りである。編集委員会は投稿者のe-mailに対し、投稿先のURL（利用期間限定）を連絡し、期間内にアップロードするように伝える。以後はその都度ダウンロード、アップロード先のURLを編集委員会から投稿者に伝え、必要な情報交換を行うようにする。

初回投稿時のe-mailの件名は「歯学雑誌投稿希望（氏名）」とし、e-mailにはカバーレターの内容も記載するものとする。カバーレターについては投稿論文の概要・意義を記すほか、原稿の種別（総説・特集・原著・症例報告・速報）を記載すること以外は書式を定めない。なお、このe-mailに原稿の添付はしないこと。2回目以降の投稿時もe-mailにて編集委員会へその旨を伝え、指示にしたがって原稿のアップロードをする。なお、2回目以降のe-mailについては、変更点などについて記したカバーレターの内容を含むこと以外は特に定めない。

編集委員会へのe-mailの宛先は以下の通りである。

hjds_editorial_office@den.hokudai.ac.jp

4. 体裁

原稿の記載順は以下を原則とする。

1. 表紙 (title page)
2. 抄録 (abstract)
3. 緒言 (introduction)
4. 方法 (methods)
5. 結果 (results)
6. 考察 (discussion)
7. 結論 (conclusion)
8. 謝辞 (acknowledgements)
9. 参考文献 (references)
10. 表 (table)
11. 図の説明 (figure legends)
12. 図 (figures)

1 3. 英文抄録 (English abstract)

1 ~ 1 1 を 1 つのファイルに統合し、項目ごとに改頁すること。1 2, 1 3 はそれぞれ別のファイルにすること。

4-1 表紙 (title page)

表題, 全著者名, 全著者の所属 (機関の所在地, 機関名, 教室名), 連絡先 (筆頭および責任著者 corresponding author の E メールアドレス, 電話番号, 内線), 略題 (30 字以内), 本文原稿枚数, 表枚数, 図枚数を記載する。また, 原稿の種別 (総説・特集・原著・症例報告・速報), 必要別刷数を朱筆する。

4-2 抄録 (abstract) (800 字以内) ・日本語のキーワード (3 つ以上 5 つ以内) .

論文内容の概要について, 研究成果の新規性, 有用性, 学術的価値などを含めて簡潔かつ明瞭に記載する。参考文献は含めない。

4-3 緒言 (introduction)

研究の背景ならびに目的について明瞭に示し, 専門外の読者に対してもその理解を促すよう記載する。

4-4 方法 (methods)

方法の初段において, 当該研究が所定の機関が定める動物実験ならびに臨床実験等の倫理規定を遵守して行われたことを明示すること。動物実験にあつては, 遵守した規則の詳細 (例: 北海道大学動物実験指針) について記載する。人または人由来の生体組織を対象として行われた研究にあつては, 遵守した規則の詳細

(例: 臨床研究に関する倫理指針等) について記載する。

4-5 結果 (results)

定量的データを示す場合, 表よりも視覚的に理解しやすい図で示す方が効果的である。著者はデータを適切に解析し, 必要に応じて適切な統計学的解析を記載する。

4-6 考察 (discussion)

結果の繰り返してではなく, 結果から導かれる結論, 結果の有用性および今後の展望等について, 参考文献の内容に照らして, 著者の見解を記載する。

4-7 結論 (conclusion)

4-8 参考文献 (references)

参考文献は下記の例に従って引用順に並べる。また同一箇所でも複数引用した場合には年代順に並べる。本文中の文献引用箇所には, 鈴木ら¹⁾, あるいは……と報告している¹⁵⁻¹⁷⁾。のように番号を付す。

a) 雑誌の場合

著者名: 表題. 雑誌名, 巻: 最初と最後のページ (通巻ページとする), 西暦年号. の順に書く。著者名は原則として全員とする。なお雑誌名には当該誌が標榜する略誌名を使用する。それ以外の場合には医学中央

雑誌の略名表, あるいは Index Medicus による誌名を使用する。

例:

- 1) 雨宮 璋: セメント質および……。歯基礎誌, 14: 131-135, 1972.
- 2) Kawamura M, Nakamura S: Surgical……plastic brackets. J Oral Surg 3: 252-255, 1974.
- 3) Shibata K, Imarai M, van Bleek GM, Joyce S, Nathenson SG: Vesicular stomatitis virus…… of the amino terminus. Proc Natl Acad Sci USA 89: 3135-3139, 1992.

b) 単行本の場合

著者名: 書名, 引用ページ, 出版者名, 発行地, 西暦年号の順に書く。

例:

- 4) 藤田恒太郎: 歯の組織学. 122-130, 医歯薬出版, 東京, 1958.
- 5) Glickman I: Clinical Periodontology. 76-78, WB Saunders, Phila, 1953.

c) 分担執筆の単行本の場合

分担執筆者名: 分担執筆の表題. 編者名, 書名, 引用ページ, 出版者名, 発行地, 西暦年号. の順に書く。

例:

- 6) 須賀昭一: エナメル質形成の……病変. 荒谷真平編, 虫歯のシンポジウム・病因論, 64-77, 口腔保健協会, 東京, 1973.
- 7) Ten Cate AR: Tooth eruption. edited by Bhaskar, SN Orban's, Oral histology and embryology, 371-385, CV Mosby, St. Louis, 1980.

4-9 謝辞 (acknowledgements)

当該研究について援助を受けた方について記載する。必要があれば研究費の出処について記載しても良い。

4-10 表 (tables)

各表について番号およびタイトル (例, 表 1 悪性腫瘍の分類) を記載する。

4-11 図とその説明 (figures & figure legends)

- a) 図は本文とは別にまとめ, その挿入箇所を本文中に明示する。
- b) 図表および写真の説明は, 和文または英文のどちらか一方に統一する。

4-12 英文抄録 (English abstract)

- a) 表題, 全著者名, 全著者の所属機関名, 所属機関の所在地

- b) 英文要旨 (400語以内) ・英語キーワード (3つ以上5つ以内)
 - c) 原稿末尾に改頁してダブルスペースで印字すること。
5. 英文校閲は編集委員会が依頼し、校閲に関わる費用は投稿料、印刷費用に含まれる。
 6. 著者による校正は初校のみとする。校正に際しては、大幅な字句の追加または削除、および図表や写真の変更は認めない。
 7. 掲載費用・別刷り
 - 7-1 総説、特集、最新の歯学の掲載料は無料とする (原則モノクロ掲載)。
 - 7-2 原著、症例報告および速報に関わる掲載料は全額著者負担とする。刷り上がり1頁10,000円、カラー頁は20,000円を加算する。
 - 7-3 別刷料は全額著者負担とする。別刷は50部を単位として受付ける。表紙印刷料5,000円+(頁数×20円)×50部である。
 8. 証明書等の発行
 - 8-1 編集委員会に原稿の到着した日付をもって原稿の受付とする。
 - 8-2 編集委員会において論文の採用が決定された後に、掲載する巻号を記載した論文掲載証明書を発行する。
 9. 本雑誌に掲載された論文の著作権 (著作権財産権, copyright) は、本学会に帰属する。著作権使用の申請は編集委員会宛に書面で行い、編集委員会が審議して諾否を決定する。
 10. 著者は当該著作物の複写権の行使を北海道歯学会に委任するものとする。
 11. 本規定の改正は編集委員会の議を経て、理事会および評議員会で議決し、総会で報告する。
 12. この規定にない事項は編集委員会で別に定める。

附 則

1. 本規定は平成4年6月16日からこれを適用する。
2. 本規定は平成8年3月13日からこれを適用する。
3. 本規定は平成9年5月10日からこれを適用する。
4. 本規定は平成11年5月14日からこれを適用する。

5. 本規定は平成21年6月16日からこれを適用する。
6. 本規定は平成28年5月13日からこれを適用する。
7. 本規定は令和3年1月19日からこれを適用する。
8. 本規定は令和4年6月20日からこれを適用する。

編集委員会：〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目
 北海道大学大学院歯学研究院
 口腔病態分野 口腔分子微生物学教室
 北海道歯学雑誌 編集委員長
 長谷部 晃

e-mail : hjds_editorial_office@den.hokudai.ac.jp

本学会誌の原稿受付締切日および発行予定日

	原稿受付締切日	発行予定日
44巻	2023年 6月15日	2023年 9月15日